

ちょっとお調べください。故障かな?……とお思いのときは、アフターサービスを ご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	電源コードが抜けている	差し込みプラグをしっかりと差し込んでください
ものが送られない (ベルトがまわらない)	厚サ調節ツマミが「薄い」の方に回りすぎている。	厚サ調節ツマミを「厚い」の方へ回してください
刃物が回転しない	刃物取り付け(裏、表)が逆になっている (刃物取付ビスが出っぱり、引っかかっている)	すぐにスイッチを切り、説明書にそって、もう一度取り付けてください
切ったものがベタつく	刃が切れない	刃を研ぐか、刃を交換してください

修理サービスおよび保証(保証書)について

修理サービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、差し込みプラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店または下記に、ご相談ください。なお、ご相談されるときは、HAPPYオートネギーOHC-220型 及びお買いあげの時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。
- このHAPPY オートネギー OHC-220型 に使用している部品は、性能向上などのために一部予告なしに変更することがあります。
- 保証期間内でも次の場合には有料になります。
(イ)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ)お買上げ後の落下などによる故障および損傷。
(ハ)火災・地震・風水害・落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。

発売元

株式会社 シンガーハッピージャパン

〒110-0016 東京都台東区台東2-9-5 TEL.03-3833-5020
FAX.03-3834-1636

E-mail:foodmachine@singerhappy.co.jp
URL:http://www.singerhappy.co.jp

保証書について

- このHAPPY オートネギー OHC-220型 には「保証書」がついています。
- 保証書はお買いあげの販売店でお渡しますから、記載内容をご確認のうえたいせつに保管してください。
 - 保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときはすぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。
 - 万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買いあげの販売店が無料修理いたします。
 - このHAPPYオートネギーOHC-220型 の保証期間は お買いあげいただいた日から1年です。

製造元

ハッピー工業株式会社

〒990-2251 山形市立谷川3-3515 TEL.023-686-2251
FAX.023-686-2215

保 証 書

型 名	HAPPY オートネギー OHC-220型		
保証期間	1 年 間	お買上げ日	年 月 日
ご愛用者	ご住所 ご芳名	〒 TEL()	
販 売 店	住 所 名 店 名	〒 TEL()	

ハッピーオートネギー OHC-220 取扱説明書



簡単なダイヤル操作で
厚さ自由自在
本格的自動送りネギ切り機
新登場!



HAPPY



4 937319 307017

安全上のご注意

ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

この注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

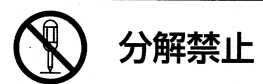
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



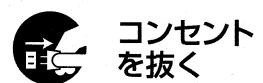
警告 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

注意 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味



分解禁止 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



コンセントを抜く 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

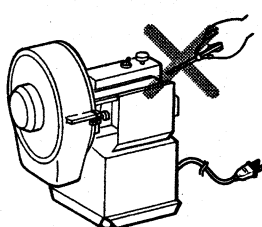
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告

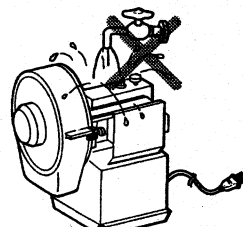
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の恐れがあります。



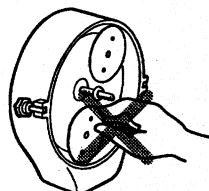
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

火傷、感電、けがをする恐れがあります。



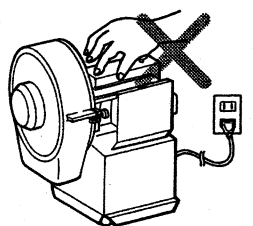
刃物は鋭利なので、直接刃先に手を触れない

けがをする恐れがあります。



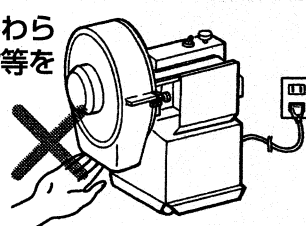
運転中に刃物ユニットを外したり、投入口に指、はし等調理材料以外を入れない

けがをする恐れがあります。



運転中、停止中にかかわらず、食品出口に手、指等を入れない

けがをする恐れがあります。



安全上のご注意

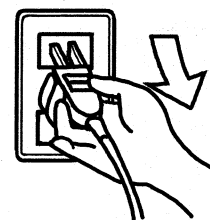
ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。



注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火する事があります。



スイッチ「切」を確かめてから、電源プラグを抜き差しする

けがの原因となります。



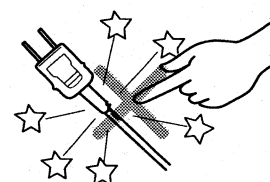
調理材料を取り出すときは、刃物を取り外してからにする

けがをする恐れがあります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



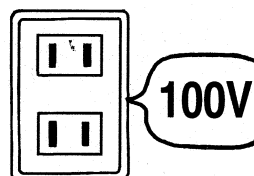
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟みこんだりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



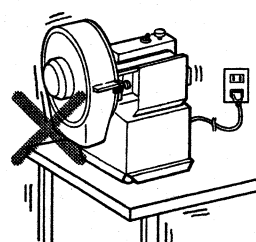
交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因となります。



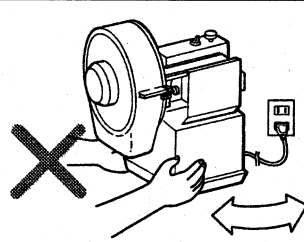
不安定なところでは使用しない

けがの原因となります。



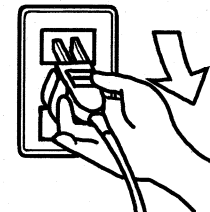
運転中に移動させない

けがの原因となります。



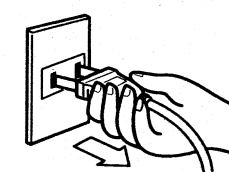
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けが、やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

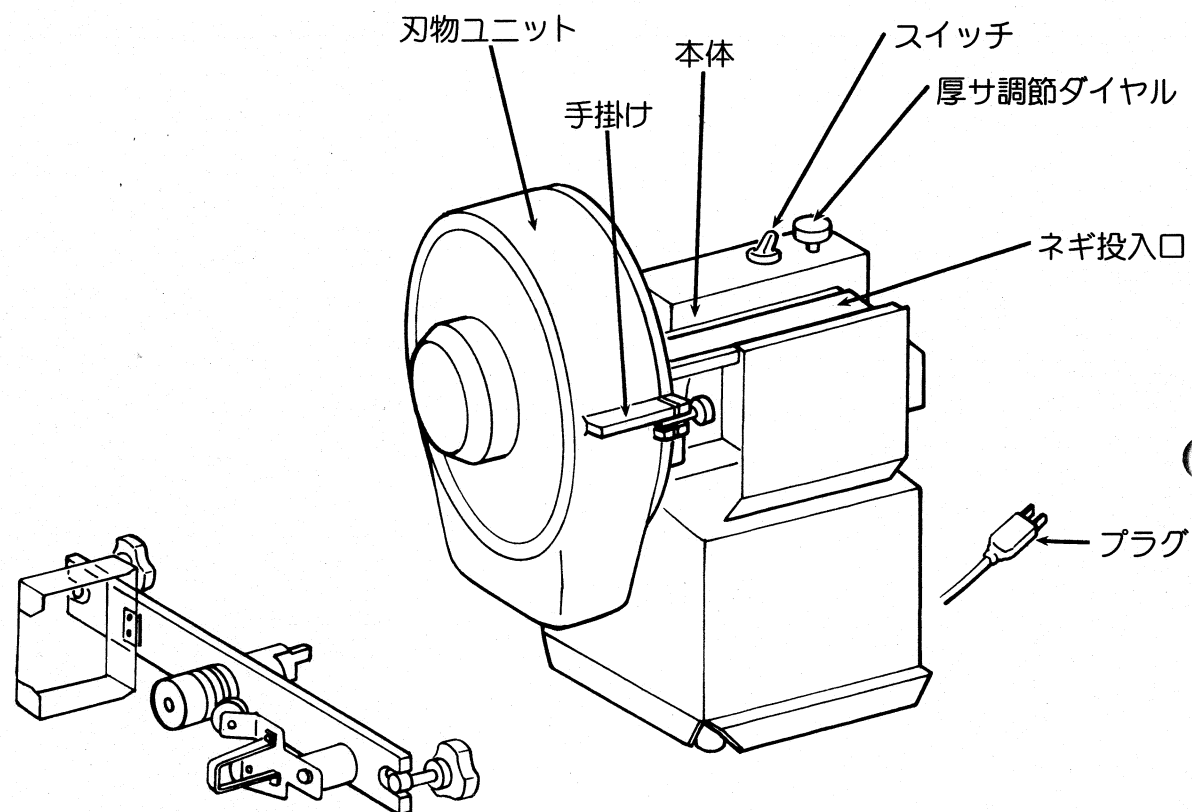


部品の取付け、取外し及びお手入れをするときは、スイッチを切り、プラグを抜く

けがをする恐れがあります。

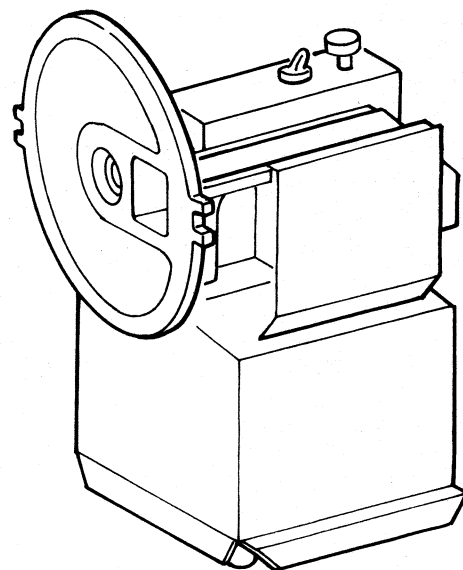
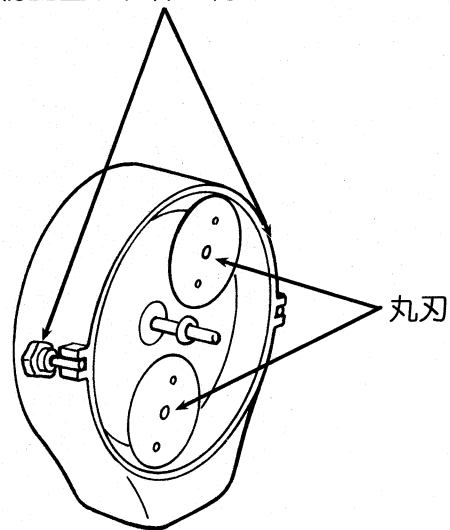


各部のなまえ

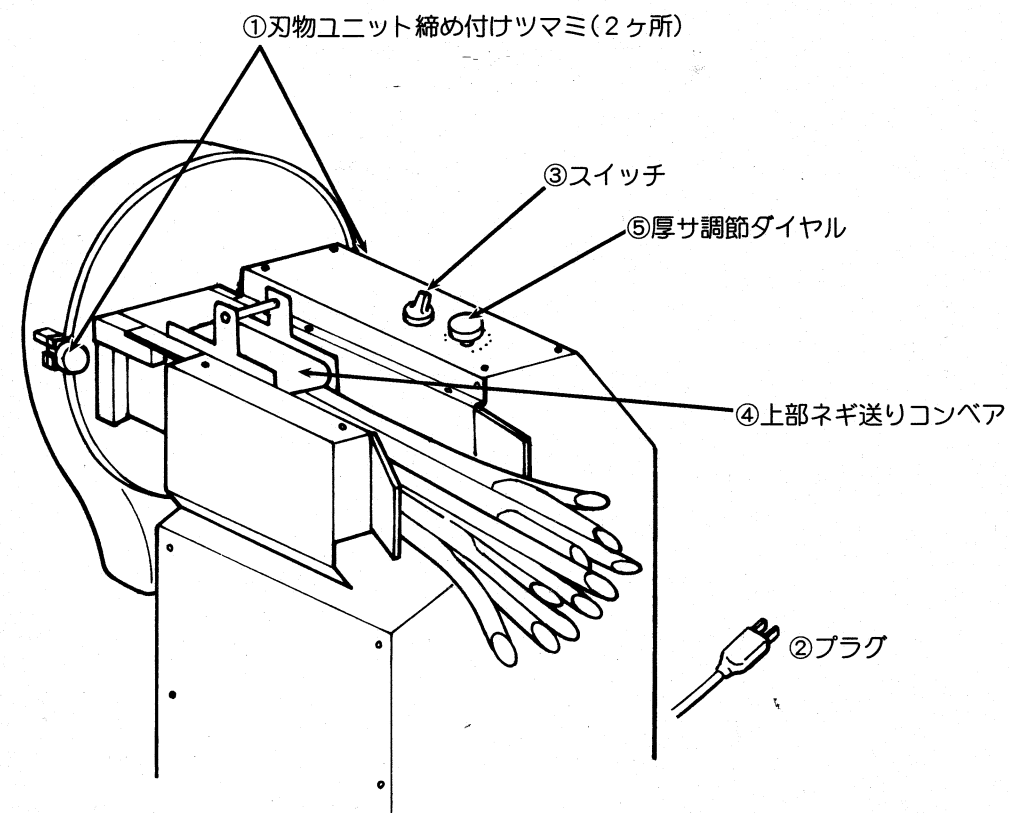


刃物研磨アタッチメント

刃物ユニット締め付けツマミ



正しい使い方



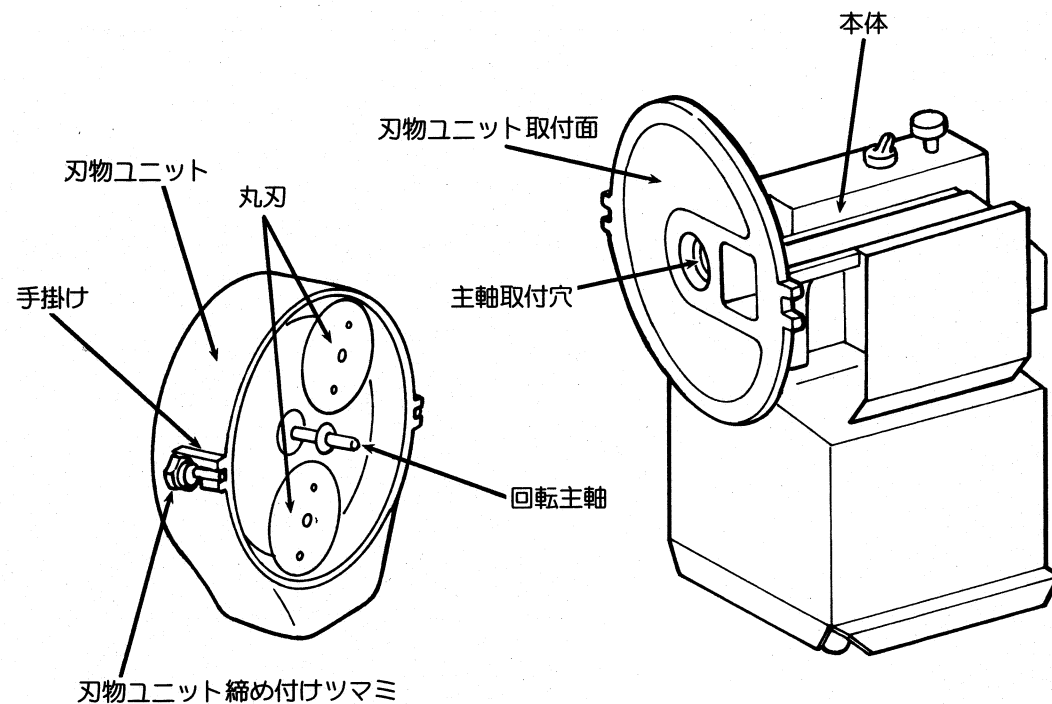
- (1) 刃物ユニットを締めている2ヶ所のツマミ(図-①)が、キチッと締められているかを確認します。
- (2) プラグ(図-②)を、コンセントに差し込み、スイッチ(図-③)を「入」にします。
- (3) 上部ネギ送りコンベア(図-④)の把手を持ち上げ、ベルトとベルトの間にネギを入れてください。ネギは自動的に送られ、切られます。
厚サ調節ダイヤル(図-⑤)で、好みの厚さに調節してください。ネギが短くなったら、次のネギを入れ、連続してご使用下さい。

(注)

◎ネギと一緒に小石や、その他の堅いものが混入しますと、刃物が破損しますので、ネギはよく洗ってからご使用下さい。

◎特に、関東の長ネギの場合、葉の部分が太くなっておりますので、一度に大量のネギを入れますと、投入口に引っかかる場合があります。葉の部分をズラすか、量を調節してください。きれいに切れます。

お手入れのしかた



(1) 刃物ユニット締め付けツマミ(2ヶ所)をゆるめて、横に外します。

(2) 刃物ユニットの手掛けを持って、水平に手前に引きますと、図の様に、刃物ユニットが外れます。(刃物ユニットは6kgと重いので、持つ時に注意してください。)

(3) 刃物ユニットの内部と、刃物ユニットの取付面に水をかけて洗って下さい。

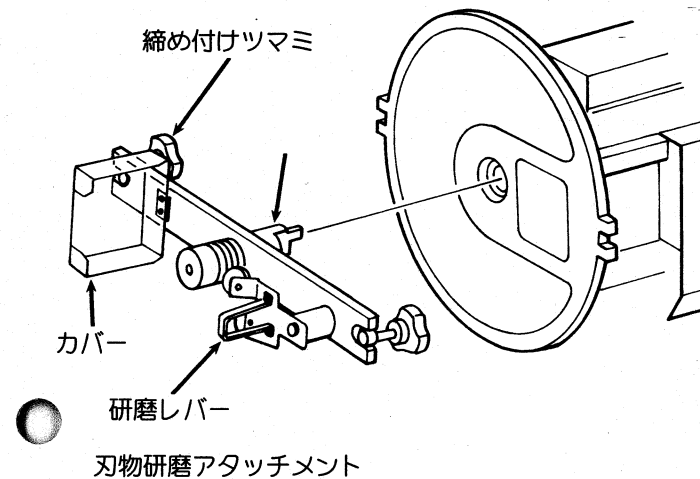
(注) 出来るだけ本体には水をかけないで下さい。また、洗った後は、布で充分、水分を拭き取って下さい。

(4) 刃物ユニットの取り付けは、まず、回転主軸を、主軸取付穴に合わせ、奥まで押し込みます。(その際、主軸の切りかき(クラッチ)を合わせる必要はありません。回転すると同時に、クラッチが自動的にカミ合うようになります。)

刃物ユニット締め付けツマミを、刃物ユニットと取付面のスキマがなくなるまで、キチッと締め付けて下さい。

(5) 2～3分間空運転をしていただきますと、機械の寿命が長持ちします。

刃物研磨機の使い方



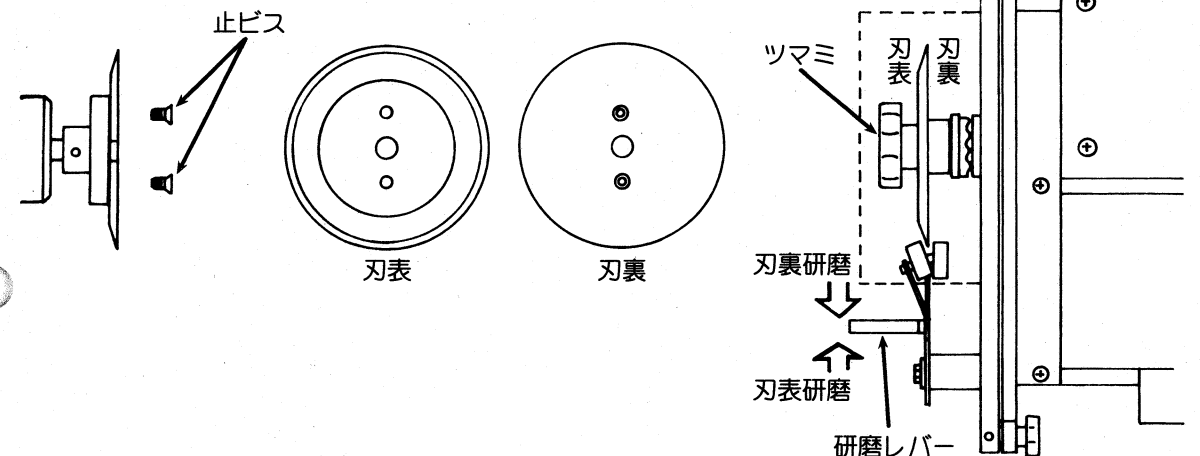
(1) スイッチが「切」になっていることを確認し、差し込みプラグを抜いて下さい。

(2) 刃物ユニットの締め付けツマミをゆるめ刃物ユニットを取り外します。

(3) 刃物研磨アタッチメントを取り付けます。その際、回転主軸の切りかきを、穴の切りかきに合わせて、完全に中まで入れて下さい。

(4) 左右2ヶの締め付けツマミで、キチッと、締め付けて下さい。

(5) 丸刃を止めている2本のビスを取り外し、丸刃を外します。図の様に「刃表」が手前になる様に取り付け、ツマミで締め付けます。



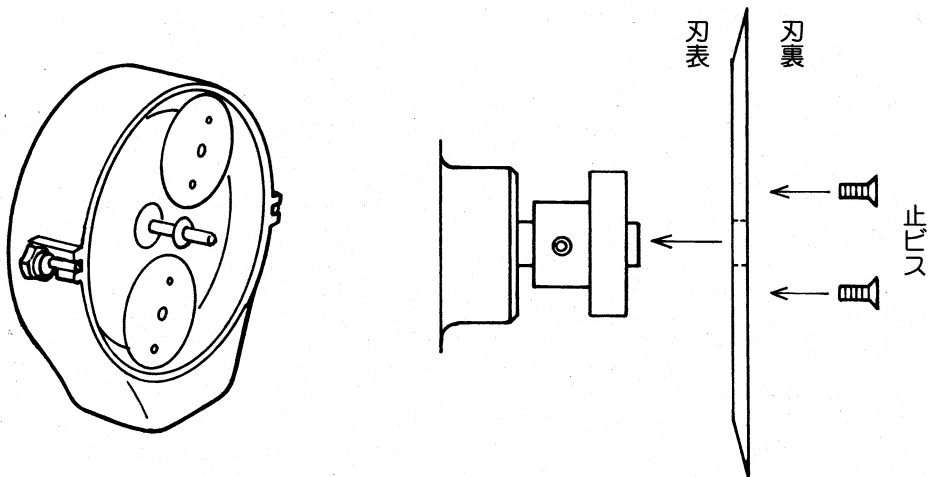
(6) カバーをかぶせ、プラグを差し込み、スイッチを入れます。

図の様に、研磨レバーを押しますと、「刃表」と「刃裏」がそれぞれ研磨されます。

実際の研磨では「刃表」を主に研磨し「刃裏」はカエリを取る程度に行ってください。

(注) 研磨の際、丸刃の取り付けは、刃表が手前になる様にしてください。裏がえしで研磨しますと丸刃が全然切れなくなります。

刃物研磨機の使い方



(7) 研磨が終わったら、アタッチメントから丸刃を取外し、機械にセットします。図の様に必ず「刃裏」を手前にして取り付けてください。

(注) 丸刃を逆向きに取り付けますと、止ビスが出っぱり、運転した時に、ビスの頭が引っかかり、故障の原因となります。



ご注意！

刃物の取扱いには充分気をつけてください。